



人間にんげんはこれからも進化しんかするの

人間にんげんがかわるのには、進化しんかと退化たいかがある

人間にんげんは、サルとおな同じ祖先そせんから進化しんかしたなどと、よくいわれます。進化しんかとは、生き物いものが長ながい時間じかんをかけて変化へんかしていくことをいいますが、この変化へんかというのは、じつは、頭あたまがよくなるとか、足あしが速はやくなるとかいった、いいほうにだけ変わるとはかぎらないのです。

体からだの一部いちぶがおとろえたり、なくなってしまうたりする、退化たいかといわれることも起おこることが考かんがえられるのです。ですから、今いまの人間にんげんが進化しんかをしたら、それは、退化たいかの方向ほうこうで起おこるだろうと、いわれているのです。

おとろえたり、なくなったり

子どもこの歯はから大人おとなの歯はに生はえかわると、親おやし知らずという歯はが生はえてきます。ところが、この歯はが、現在げんざい、少すこしずつ退化たいかしているといわれ、大人おとなになっても生はえない人ひとが増えていて、おそらく、今いまから数千年すうせんねんご後ごまでには、なくなってしまうだろうと、いわれています。

また、自動車じどうしゃや電車でんしゃの発達はったつによって、歩あるくことが少すくなくなったため、足あしが退化たいかするだろうといわれています。足あしを使つかわなければ、筋肉きんにくも骨ほねも、当然とうぜん、おとろえていくでしょう。

(監修・保志 宏)

